



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場会社名 株式会社ドワンゴ 上場取引所 東  
 コード番号 3715 URL http://info.dwango.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 隆司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 小松 百合弥 (TEL) 03(3549)6300  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	30,431	14.6	3,115	65.5	3,254	62.3	2,217	11.0
25年9月期第3四半期	26,555	△1.3	1,882	155.7	2,004	186.8	1,997	—

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 2,169百万円(△11.1%) 25年9月期第3四半期 2,439百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	54.41	—
25年9月期第3四半期	48.96	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第3四半期	32,558	22,385	68.3	547.17
25年9月期	28,853	20,736	71.7	506.95

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 22,246百万円 25年9月期 20,684百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますが、平成25年9月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,251	17.5	3,165	48.5	3,224	40.6	2,463	8.4	60.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年9月期3Q	40,810,400株	25年9月期	40,810,400株
26年9月期3Q	59,600株	25年9月期	8,600株
26年9月期3Q	40,746,834株	25年9月期3Q	40,801,800株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

- (注) 1. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。
2. 当社は、株式給付信託型ESOPを導入しております。株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確実性が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	7
追加情報	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年10月1日～平成26年6月30日）における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策により、企業収益の改善が進み、個人消費も消費税引き上げによる一時的な弱い動きが見られましたが堅調に推移し、緩やかながら景気回復基調が続いております。

当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用関連会社）を取り巻く環境は、スマートフォンの普及が進み、様々なタブレット端末が発売され、通信機能を備えたデバイスの進化と多様化が進んでおります。それに伴い、SNSや動画配信サービス、電子書籍などの利用も広がり、新たなアプリやサービスも次々と登場し、スマートフォン関連の市場は拡大しております。

この様な環境の中、当社グループにおきましては、ネットワークを通じた新しいコミュニケーション手段を提供すべく、ネットワークエンタテインメントサービス・コンテンツをスマートフォン、携帯電話、PC、家庭用ゲームソフト市場などで事業展開してまいりました。

事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。

ポータル事業においては、ニコニコ生放送で、4月26日、27日に幕張メッセで開催された「ニコニコ超会議3」は、ネット視聴者が759万人となり、大きな盛り上がりを見せた他、「AKB48 37thシングル選抜総選挙 速報発表 メディア独占生中継&ニコニコの予想特番」などニコニコ生放送ならではの多様な番組を放送しました。また、3Dモデルの投稿・共有、クリエイター奨励プログラムにも対応した立体投稿共有サービス「ニコニ立体」を開始しました。

これらの取り組みにより、平成26年6月末には登録会員数4,124万人、様々な特典が受けられる有料の「プレミアム会員」は229万人となりました。

収益面では、「プレミアム会員」が順調に増加しており売上に貢献しています。

以上の結果、ポータル事業の売上高は136億54百万円（前年同期比16.7%増）、セグメント利益（営業利益）は25億31百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

モバイル事業においては、スマートフォン向けでは高音質楽曲配信サービス「ドワンゴジェイピー」に、人気グループの最新シングルの独占先行配信だけでなく、niconicoの人気ボカロ楽曲など当サービスならではの楽曲を充実させ、サービス拡充に取り組みました。

従来の携帯電話端末向けには、音楽系サイトの着うた®や着うたフル®を中心にユーザ満足度向上に努めましたが、スマートフォンへの移行の影響を受け会員数は減少しました。

費用面につきましては、著作権等使用料及び広告宣伝費が減少しました。

以上の結果、モバイル事業の売上高は89億41百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント利益（営業利益）は16億57百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

ゲーム事業においては、据置型や携帯型ゲーム機の家庭用ゲーム市場は厳しい状況が続いております。

その中において、自社パッケージソフトで12月に発売した「進撃の巨人～人類最後の翼～」が引き続き堅調に推移しました。また、スマートフォンダウンロード版「テラリア」をリリースしました。

以上の結果、ゲーム事業の売上高は51億8百万円（前年同期比87.6%増）、セグメント利益（営業利益）は8億37百万円（前年同期比306.3%増）となりました。

ライブ事業においては、4月26日、27日に幕張メッセで「ニコニコ超会議3」を開催し、延べ12万4千人の方が来場しました。ライブハウス「ニコファーレ」では、niconico関連のイベントやコンサート、ゲーム系イベントなどを開催した他、各種イベント向けにホールの貸出なども行いましたが、イベント数は減少しました。また、組織変更に伴うコスト負担が増加しました。

以上の結果、ライブ事業の売上高は13億57百万円（前年同期比34.6%増）、セグメント損失（営業損失）は5億74百万円（前年同期は3億1百万円の損失）となりました。

その他事業においては、アニメ分野やniconicoから生まれたコンテンツのCDやDVDなどの音楽出版及び著作権利用料収入、声優、アーティスト育成、タレントマネジメントなどが売上に貢献しました。

以上の結果、その他事業の売上高は18億4百万円（前年同期比32.3%増）、セグメント損失（営業損失）は1億16百万円（前年同期は2億70百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高304億31百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益31億15百万円（前年同期比65.5%増）、経常利益32億54百万円（前年同期比62.3%増）、四半期純利益は22億17百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は325億58百万円（前連結会計年度末より37億5百万円増）となりました。現金及び預金の増加や仕掛品の増加等により、資産が増加しました。

負債合計は、101億73百万円（前連結会計年度末より20億56百万円増）となりました。長期借入金の増加等により、負債が増加しました。

純資産合計は、223億85百万円（前連結会計年度末より16億49百万円増）となりました。四半期純利益22億17百万円に伴う利益剰余金の増加等により、純資産が増加しました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ24億77百万円増加し、111億69百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ3億27百万円増加し、31億36百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が増加したこと等により、前第3四半期連結累計期間と比べ18百万円支出が減少し、14億88百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入等により、前第3四半期累計期間と比べ、14億76百万円収入が増加し、8億29百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績見通しにつきましては、当社グループを取り巻く事業環境の変化は早く、それに伴い当社の業績も短期的に大きく変動することも想定されることから通期業績のみを開示することとしております。当第3四半期連結累計期間の業績は、連結業績予想に対して順調に進捗しておりますが、第4四半期会計期間において、連結子会社における業績の下振れが想定されることなどもあり、平成26年2月13日発表の業績予想から、現時点では変更はありません。

(参考情報)

当第3四半期連結業績

[売上構成]

(金額：百万円)

	前第3四半期 (売上比)	当第3四半期 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	当第3四半期の主な変動要因
売上高	26,555	30,431	35,946	
ポータル事業	11,703 (44.1%)	13,654 (44.9%)	16,044 (44.6%)	niconicoのプレミアム会員数が増加したことによります。
モバイル事業	10,253 (38.6%)	8,941 (29.4%)	13,313 (37.0%)	月額会員制サイトの会員数が減少したことによります。
ゲーム事業	2,723 (10.3%)	5,108 (16.8%)	4,136 (11.5%)	パッケージゲームの大型タイトルの発売により販売本数が増加したことによります。
ライブ事業	1,008 (3.8%)	1,357 (4.5%)	1,153 (3.2%)	
その他事業	1,363 (5.1%)	1,804 (5.8%)	1,908 (5.3%)	
消去又は全社	△496 (△1.9%)	△434 (△1.4%)	△610 (△1.7%)	

[売上原価主要科目]

(金額：百万円)

	前第3四半期 (売上比)	当第3四半期 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	当第3四半期の主な変動要因
売上原価	14,995 (56.5%)	16,584 (54.4%)	20,432 (56.8%)	
人件費	4,307 (16.2%)	4,345 (14.2%)	5,615 (15.6%)	
支払手数料	1,730 (6.5%)	2,205 (7.2%)	2,480 (6.8%)	パッケージゲームの販売タイトルが増加したこと及びniconicoのコンテンツ獲得が増加したことによります。
著作権等使用料	2,849 (10.7%)	2,286 (7.5%)	3,776 (10.5%)	着うた®・着うたフル®のダウンロードが減少したことによります。
外注費	2,845 (10.7%)	4,700 (15.4%)	4,038 (11.2%)	パッケージゲームの販売タイトルが増加したこと及び連結子会社が増加したことによります。
通信費	2,061 (7.8%)	2,052 (6.7%)	2,750 (7.6%)	
その他	2,402 (9.0%)	1,587 (5.2%)	2,428 (6.8%)	
たな卸資産の増減	△327 (△1.2%)	△470 (△1.5%)	△487 (△1.3%)	
(他勘定振替)	△875 (△3.3%)	△121 (△0.3%)	△169 (△0.4%)	

## 〔販売費及び一般管理費主要科目〕

(金額：百万円)

	前第3四半期 (売上比)	当第3四半期 (売上比)	前連結会計年度 (売上比)	当第3四半期の主な変動要因
販売費及び 一般管理費	9,677 (36.4%)	10,730 (35.2%)	13,382 (37.2%)	
広告宣伝費	3,646 (13.7%)	3,819 (12.5%)	5,025 (13.9%)	
人件費	1,803 (6.8%)	2,257 (7.4%)	2,415 (6.6%)	
支払手数料	2,518 (9.5%)	2,863 (9.4%)	3,604 (10.0%)	niconicoのプレミアム会員増加に伴い増加 したことに伴います。
研究開発費	246 (0.9%)	121 (0.3%)	292 (0.8%)	
その他	1,462 (5.5%)	1,670 (5.6%)	2,046 (5.9%)	

※当第3四半期末の従業員数（連結）は、1,139名となり、前第3四半期末より198名増加しており、前連結会計年度末より211名増加しております。



## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### 追加情報

（株式給付信託型ESOPの会計処理について）

当社は、第1四半期連結会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を早期適用しております。

当社は当社グループ従業員の労働意欲や経営参画意識の向上を促すとともに、会社への貢献を従業員が実感できる報酬制度の導入を目的として、平成25年11月14日開催の取締役会において、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託型ESOP」（以下「本制度」といいます。）の導入を決議いたしました。

当社が当社グループ従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定します。当該信託は予め定める株式給付規程に基づき当社従業員に交付すると見込まれる数の当社株式を株式市場において取得します。

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社グループ従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は、株式給付規程に従い、当社グループ従業員に対し業績貢献度等に応じてポイントを付与し、在職時に（累積した）ポイントに相当する当社株式を無償で給付します。

当該信託については、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として、貸借対照表に計上し、信託の損益を企業の損益として損益計算書に計上する方法（総額法）を適用しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末に株式給付ESOP信託口が所有する当社株式は、総額法の適用により四半期連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しており、計上額は42,652千円、株式数は16,500株であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,697,504	11,174,511
受取手形及び売掛金	6,322,457	6,398,531
商品及び製品	120,315	123,904
仕掛品	1,091,474	2,574,981
貯蔵品	1,844	12,409
その他	2,065,410	1,463,383
貸倒引当金	△1,423	△13,097
流動資産合計	18,297,582	21,734,623
固定資産		
有形固定資産	2,258,403	2,658,903
無形固定資産		
のれん	773,927	1,066,712
ソフトウェア	1,708,132	1,538,232
その他	2,004	173,560
無形固定資産合計	2,484,064	2,778,505
投資その他の資産		
投資有価証券	4,645,380	3,761,549
その他	1,380,856	1,777,770
貸倒引当金	△212,702	△152,492
投資その他の資産合計	5,813,535	5,386,827
固定資産合計	10,556,003	10,824,236
資産合計	28,853,586	32,558,859
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,871,705	2,104,032
1年内償還予定の社債	—	16,640
1年内返済予定の長期借入金	—	400,000
未払法人税等	210,052	466,183
賞与引当金	558,317	267,627
ポイント引当金	28,901	49,731
株式給付引当金	—	42,652
資産除去債務	23,078	25,900
その他	4,675,102	4,468,648
流動負債合計	7,367,157	7,841,415
固定負債		
長期借入金	—	1,550,000
資産除去債務	332,790	398,743
その他	417,566	383,403
固定負債合計	750,357	2,332,146
負債合計	8,117,514	10,173,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,616,302	10,616,302
資本剰余金	9,089,327	8,694,093
利益剰余金	378,062	2,595,213
自己株式	△5,636	△130,559
株主資本合計	20,078,055	21,775,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606,368	471,082
その他の包括利益累計額合計	606,368	471,082
少数株主持分	51,647	139,165
純資産合計	20,736,071	22,385,297
負債純資産合計	28,853,586	32,558,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	26,555,345	30,431,330
売上原価	14,995,410	16,584,945
売上総利益	11,559,934	13,846,384
販売費及び一般管理費	9,677,073	10,730,931
営業利益	1,882,861	3,115,453
営業外収益		
受取利息	1,792	1,007
受取配当金	36,100	45,304
持分法による投資利益	6,295	—
為替差益	—	13,857
業務受託料	11,432	2,692
保険返戻金	12,223	9,205
投資事業組合運用益	24,339	64,369
その他	32,441	23,689
営業外収益合計	124,627	160,124
営業外費用		
支払利息	2,297	5,002
持分法による投資損失	—	14,024
その他	422	2,219
営業外費用合計	2,719	21,246
経常利益	2,004,768	3,254,331
特別利益		
投資有価証券売却益	—	45,456
投資有価証券償還益	—	38,671
関係会社株式売却益	4,476	—
段階取得に係る差益	—	327,619
特別利益合計	4,476	411,748
特別損失		
投資有価証券評価損	—	339,710
ゴルフ会員権評価損	5,810	—
その他	1,200	—
特別損失合計	7,010	339,710
税金等調整前四半期純利益	2,002,234	3,326,369
法人税、住民税及び事業税	275,760	630,661
法人税等調整額	△280,076	391,039
法人税等合計	△4,315	1,021,700
少数株主損益調整前四半期純利益	2,006,550	2,304,669
少数株主利益	8,932	87,518
四半期純利益	1,997,617	2,217,151

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,006,550	2,304,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	429,686	△135,286
為替換算調整勘定	2,818	—
その他の包括利益合計	432,505	△135,286
四半期包括利益	2,439,056	2,169,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,430,089	2,081,864
少数株主に係る四半期包括利益	8,966	87,518

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,002,234	3,326,369
減価償却費	1,575,879	1,188,152
のれん償却額	203,598	269,159
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△327,619
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,567	11,555
賞与引当金の増減額(△は減少)	△145,715	△293,662
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	42,652
受取利息及び受取配当金	△37,892	△46,311
支払利息	2,297	5,002
持分法による投資損益(△は益)	△6,295	14,024
投資事業組合運用損益(△は益)	△24,339	△64,369
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△45,456
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△38,671
投資有価証券評価損益(△は益)	—	339,710
ゴルフ会員権評価損	5,810	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△4,476	—
売上債権の増減額(△は増加)	△46,814	181,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	△332,259	△970,741
仕入債務の増減額(△は減少)	8,791	△127,841
未払金の増減額(△は減少)	△95,985	△710,932
その他	98,701	637,838
小計	3,219,101	3,390,160
利息及び配当金の受取額	57,412	46,311
利息の支払額	△2,297	△4,457
法人税等の支払額	△465,516	△398,264
法人税等の還付額	—	102,371
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,808,700	3,136,121
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△426,625	△876,263
有形固定資産の売却による収入	—	281
無形固定資産の取得による支出	△613,296	△444,788
投資有価証券の取得による支出	△37,500	△171,800
投資有価証券の売却による収入	50,500	379,942
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△159,372
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△116,749	—
貸付金の回収による収入	136,750	2,834
ゴルフ会員権の取得による支出	△39,731	—
差入保証金の差入による支出	△543,217	△354,068
差入保証金の回収による収入	72,137	93,410
その他	10,662	41,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,507,069	△1,488,149

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△685,000	△700,000
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△149,770	△50,000
社債の償還による支出	—	△8,340
ストックオプションの行使による収入	—	18
自己株式の取得による支出	—	△207,365
配当金の支払額	△408,460	△408,518
その他	△3,842	3,239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647,072	829,035
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	654,558	2,477,006
現金及び現金同等物の期首残高	6,159,325	8,692,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,813,884	11,169,511

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ポータル 事業	モバイル 事業	ゲーム 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,361,857	10,252,760	2,718,150	986,753	25,319,522	1,235,823	26,555,345	—	26,555,345
セグメント間の内部売上高又は振替高	341,546	666	5,188	21,620	369,021	127,442	496,463	△496,463	—
計	11,703,403	10,253,427	2,723,339	1,008,373	25,688,543	1,363,265	27,051,809	△496,463	26,555,345
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,839,646	1,373,242	206,061	△301,681	3,117,268	△270,224	2,847,044	△964,182	1,882,861

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△964,182千円は、セグメント間取引消去353,704千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,317,887千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ポータル 事業	モバイル 事業	ゲーム 事業	ライブ 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,355,371	8,938,797	5,095,843	1,353,677	28,743,689	1,687,640	30,431,330	—	30,431,330
セグメント間の内部売上高又は振替高	298,732	2,358	13,042	3,582	317,716	116,632	434,348	△434,348	—
計	13,654,104	8,941,156	5,108,885	1,357,259	29,061,406	1,804,272	30,865,678	△434,348	30,431,330
セグメント利益又はセグメント損失(△)	2,531,394	1,657,145	837,313	△574,775	4,451,077	△116,384	4,334,693	△1,219,239	3,115,453

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ出資等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,219,239千円は、セグメント間取引消去492,149千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,711,389千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間に株式会社MAGES.の株式を追加取得し、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、「ゲーム事業」で228,615千円、「ライブ事業」164,526千円、「その他」で168,802千円です。